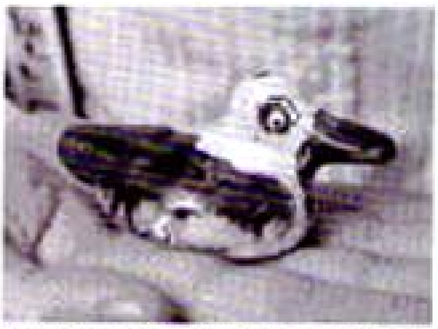
[illegible]

オカリナの真実

ト・ドナーティという人がオカリナを作って定着しました。

意外にも、それほど古い楽器ではないのですね。

● ありませんが、それまであいたこんな音しか出ない鳥の形をした笛みたいなものに、穴の数を増やして音階を[illegible]ています。[illegible]、この名前の前イタリア語で「オカ」と言いますが、これがいつ頃からあるのかはわかりません。私の知る限り、ローマの古代遺跡に鳥の笛がありますから、その頃[illegible]はあったことになり、調べればもっと遡れるかも知れません。ただし、



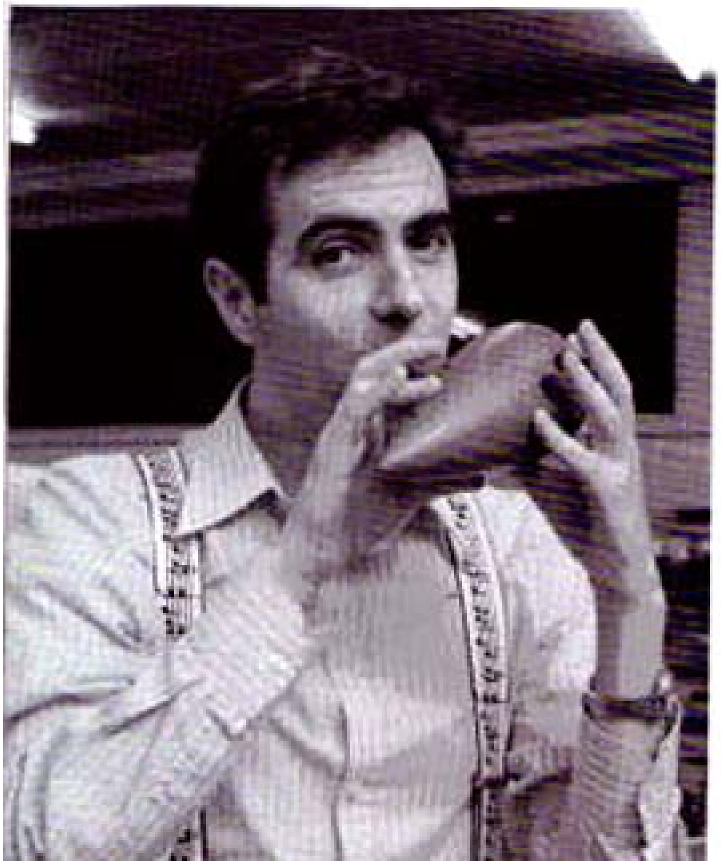
オカリナの元になった水鳥の形をしたオモチャ。イタリアで「オカ」と呼ばれていた。穴が2箇所しかなくて音が鳴る。

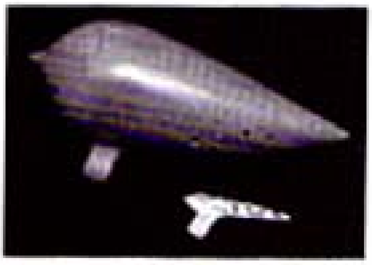
イタリア北東部の町ブドリオで生まれたといわれるオカリナ。名前の由来はボローニャ地方の方言で言う「小さなガチョウ」。

こうしたものは楽器ではなく、あくまで玩具でした。ちなみにオカリナとは、ボローニャ地方の方言で、小さなガチョウという意味です。

指穴を開けて、このように楽器にしたのですか。

● 最初にドナーティが考案したものは、吹き口みたいな穴の開けられていましたが、その後にフルートなどを参考に





オカリナ族には音域によってたくさんの種類があり、この写真の大きなものが一番低いオカリナ、小さなものが一番高いオカリナ。

[illegible]

して後に長いオカリナを作りました

どんな形態で演奏されていたのですか。

● ブドリオで、最初は5音から始まったんです。陶器の笛にただ穴を開けたものなら、中国や南米などにもあったかも知れませんが、ブドリオのオカリナが画期的なのは、「オカリナ族」を発展し